

二〇二五年度

神奈川学園中学校入学考查問題

国語

(A日程午前)

時間 五十分

○問題は、一ページから十四ページまであります。

○テスト開始前に、問題用紙のページに脱落だつがないかどうか確認しなさい。

○解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

○文中からのぬき出しや答えに求められている字数は、各問いの指示に従いなさい。
特に指定がない場合は、句読点などの符号ふひょうを入れても入れなくてもよい。

問題一

次の(1)～(10)の——線部の漢字にはその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字に直して答えなさい。

- (1) 温暖なキコウにめぐまれた土地。
- (2) ヒンコンに苦しむ人々を助ける。
- (3) 重要書類をホカンしておく。
- (4) 日本は多くのコクモツを輸入している。
- (5) 話し合いの場をモウける。
- (6) 秋は虫の声も風情がある。
- (7) 口うるさいので彼は敬遠される。
- (8) お金のむだづかいは自重する。
- (9) 何かあればその都度相談しよう。
- (10) 自分のした悪事の報いを受ける。

問題二

次の(1)～(5)の——線部の言葉を、例にならって言い切りの形(下に「。」がつく形)に直しなさい。

例 明日からの文化祭をがんばろう。↓ がんばる

- (1) 音楽会では、楽しく歌をうたった。
- (2) 妹を連れて行ってもいいですか。
- (3) 学校の門は夜六時に閉じます。
- (4) 危ないので近づかないでください。
- (5) 質問があれば、手を挙げてください。

問題三

次の(1)～(5)の()に入るもつともふさわしい言葉を、後の
 []の《入る言葉》のア～オから選び、それぞれその記号で
 答えなさい。また、それはどのような様子を表した言葉か、後の
 []の《様子》のカ～コから選び、それぞれその記号で答えな
 さい。

- (1) 妹に追い越されそうで() してられない。
 (2) これは、世の中に() している話だ。
 (3) 試合に負けてしまい、() と帰宅した。
 (4) イベント当日、() と出かけた。
 (5) 今月は仕事の依頼が() と入ってきた。

《入る言葉》

ア ごろごろ イ すごすご ウ ばたばた
 エ いそいそ オ うかうか

《様子》

カ あわただしくしている キ 気落ちしている
 ク のんびりしている ケ 一面に散らばっている
 コ うれしそうにしている

問題四

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。(問題の都合で本文の一部を変えています。)

「じゃあ最後、渡辺さん。お願いします」

矢地が明るい声で呼びかけた時、伊澄は身体の向きを変えて、自分の席からちょうど対角線を引つ張った位置にある席を見た。

「渡辺六花です。西扇中学校を卒業しました」

言葉が驚くほどはつきりと耳に届く、訓練された役者のような声で六花は話し始めた。ゆつくりと教室全体に視線を移動させながら、やわらかい微笑を口もとに浮かべる。

「車いすユーザーになったのは、中学二年生の時です。脊髄……背骨のなかの神経に腫瘍ができてしまって、抗がん剤治療や放射線治療を受けました。先生たちのおかげで命は助かりましたが、歩くことができなくなりました。でも、おへそから上は問題なく動かし、自分の身の回りのことは自分でできるようにするための自立訓練を受けたので、体育は難しいけど、そのほかのことはだいたい自分でできます。でも、もし自分だけでは対応できないことが起きた時は、手を貸してください。よろしくお願いします」

六花が頭を下げると、すかさず拍手が響いた。すばらしい笑顔の矢地だ。

「はい、渡辺さんありがとうございます！ みんなも今聞いたように、あまり構えないで仲良くしてくださいね。渡辺さんは障がいを持っていますが、それは個性であって、車いすだって何も特別じゃない。みんなと同じ高校生です。三十五人みんな、明るく、楽しく、思いやりのあふれたクラスにしていきたいです」

まるで六花に「①大切なことを考える機会をくれてありがとう」とお礼でも言うような笑顔で矢地はまた拍手をする。それにつられてばらばらとほかの生徒も手を叩き始めた。伊澄も両手を近づけたものの、今まで誰が自己紹介をしても拍手なんてしなかったのに、六花の時だけするのは何かおかしくないか。そう思えて、②結局何もしないまま手を下ろした。

「今度は学級委員を決めたいと思います。男子から一人、女子から一人、それから書記が一人。誰か、やってもいいっていう人はいる？」

矢地が手を挙げる仕草をしたが、反応を示す生徒はおらず、それどころか教室は呼吸もはばかられるほど静まり返った。伊澄も、自分の前にこの机を使っていた誰かが残したらしい『最近購買のおばちゃんを見ると、なんかしあわせでフワフワしてそれなのに少し苦しくなる。この気持ちは何だろう』という落書きをながめていた。おまえ、それは、きっと恋だ。

「学級委員といっても、そんなに身構えなくても大丈夫よ。やつてもらうのはホームルームの司会とか、集会の時の点呼とか、あとはイベントの時の準備とか、そのくらいかな。こういう時にリーダーシップを執った経験って社会に出た時にも絶対に役に立つし、何より高校生活の素敵な思い出になると思うの。どう？ やつてみたいなんて思う人、いない？」

矢地がもう一度自分の手を挙げてみせる。それでも教室は静まり返ったままだ。③伊澄も机のすみに続く落書きを見つめていた。『俺にとつておばちゃんは運命でも、きつとおばちゃんにとって俺は運命じゃない』。なんか切ない展開になっている。これを書いた誰かはまだこの学校にいらんだろうか。その後どうなったのか気になって仕方ない。

「うーん、残念です。みんなには人が嫌がることでも自分から進んで引き受けられる人になってほしいんだけど……どうしても誰もいないなら、この人なら安心してまかせられるなっていう人を推薦してもらおうのもいいです。どう？」

推薦。ちよつと前まで中学生だったヒヨッコ高校生には、荷が重すぎる高等技術だ。推薦という形で相手の意に染まなことを押しつけたら恨みを買うことになるし、同じ中学の出身でもなければまだお互いのことをほとんど知らない。伊澄に至っては中学時代は三年生の夏まで部活漬けだったから、同じ中学出身者のことすらほとんど知らない状態だ。まとめると、推薦はするのもしられるものかなりしんどい。

「困ったなあ。これが決まらなないと、先に進めなですよ。みんなのクラスのことなんだから、みんなが考えて決めない」と

④ ため息まじりの矢地の声にかすかな奇立ちが混じり始めている。そこまで言うなら、もういつそ、あみだくじで決めたらどうだろうか。少なくとも沈黙の時間ばかりが過ぎていく事態は解決できるし、くじで決まったら不運な当選者も諦めがつくというものだ。「学級委員なんかに立候補したら『何こいつ張り切っちゃってんの？』って思われそう」という心配もしなくていい。考えれば考えるほどあみだくじがいいような気がしてきて、あと一分してもしんとしたままだったら提案してみよう、と伊澄が決めたその時だった。

「はい」

澄んだアルトの声が聞こえると、⑤ 教室が小さくざわめいた。伊澄も意表を突かれて自分の席から対角線を引っ張った位置にある席を見た。クラス中から注目されても、六花は手を挙げたまま表情を動かさない。

⑥ ひどく驚いた様子の矢地は、すぐに晴れやかな笑顔に切り替えた。

「ありがとう、渡辺さん。積極的ではらしいです。⑦ ほかに？ 女子でほかに誰か、自分がやりたいという人や、この人にやってほしいという意見はない？」

同性の生徒たちに語りかける矢地はにこやかで、でも少し焦っているのが感じられた。

立候補者が出た時、ほかに誰かやりたいやつはいないかと確認するのは、別におかしなことじゃない。でもほかに手が挙がるわけがないのは、さっきまでの長すぎる沈黙の時間にわかったんじゃないのか。

矢地は、手を挙げたのが六花じゃない女子だったら、同じようにほかに誰かいないかと確認したんだろうか。

「——はい」

手を挙げた時、正気か、という自分の内なる声が聞こえた。クーリングダウンのジョグみたいに、何にも本気にならず、気ままに適当に三年間を流していくんじゃないか。学級委員なんて絶対におまえのキャラじゃないだろ。内なる自分が言うことは最初から最後までもつとで、しかし、もう現実には手は挙げてしまった。挙げた以上はあとに引けない。トラックに立ってスタートを切ったら、あとは何があっても走り抜くしかないのだ。

矢地は目をまるくして伊澄を見つめ、ほっとしたような笑顔になった。

「ありがとう。じゃあ、男子は荒谷君にお願いしようかな。男子のみなさん、いい？」

「いいです」

軽いノリで返事したのは、後ろの席の上杉謙信だった。本当はおまえみたいなやつがなるのがいいのに、とイラッとした。

「それじゃ、女子でほかにやりたい人は――」

⑧「渡辺さんじゃ、だめなんですか」

元から愛想のない声が、ますます無愛想になつてゐる気がしたが、そのまま続けた。

「やるつて言つてゐるし、ほかの人つていつでも誰もいないと思います」

「うん、そうね……でも、学級委員は雑用をしてもらつたり、居残りしてもらつこともあるから、負担になるかもしれないし」

「負担になる時は俺が代わりますけど」

「えっ……と、そうね……」

矢地が⑨齒切れ悪く口ごもつてから一秒後、

「はい」

やわらかいソプラノが聞こえた。中央の列の真ん中あたりに座つた髪⑩の長い女子が手を挙げてゐる。矢地の顔が、ぱつと明るくなった。

「武井さん、立候補？」

「はい。こういう経験ないので、ちゃんとできるかわからないけど」

「大丈夫、大丈夫。何事も経験よ」

Y。

「じゃあ渡辺さん、立候補が複数出たので、投票で決めていい？ それかジャンケンを」

「いえ。もし武井さんがよければ、武井さんが委員になつてください」
今度はふり返らなかつたから、伊澄には彼女の表情はわからない。でも、あいかわらずアルトの声は言葉の輪郭がくつきりとしていて潔かつた。

「そう、武井さんをお願いしていい？」

「はい」

「では、女子の委員は武井彩香さん、男子は荒谷伊澄くん、お願いします。それじゃ荒谷くんと武井さん、前に出てきて。次に書記を、そのあとは各委員を決めましょう」

齒切れのいい話し方に戻つた矢地に促され、伊澄は席を立つた。⑩「やっぱりやめます、という言葉が喉まで出かけていたが、やっぱり、自分で言い出したことなのだからそれはだめだ。」

—— 阿部咲子『カラフル』

問一

——線部①「大切なこと」とありますが、矢地が言う「大切なこと」とはどのようなことを指しているかと伊澄は考えているのですか。その説明をした次の文の（１）（３）に入るものもふさわしい語を、本文中からそれぞれ二字程度でぬき出して答えなさい。

* たとえ（１）があつたとしても、それは（２）であり、まったく（３）なことではないということ。

問二

——線部②「結局何もしないまま手を下ろした」とありますが、なぜ伊澄は拍手をしなかったのですか。その理由としてもっともふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 六花の自己紹介に心を動かされたが、拍手をして六花に特別な思いがあるように見られたくはなかったから。

イ ほかの生徒が自己紹介をした時は誰も拍手をしなかったのに、六花の時だけ拍手をするのは変だと思ったから。

ウ 先生が拍手をしたから拍手をするのは、先生に気に入られようとしているからだと思われなくなかったから。

エ 六花が語った内容はごく当たり前の内容だったので、あえて拍手をしてまでほめる必要を感じなかったから。

問三

——線部③「伊澄も机のすみに続く落書きを見つめていた」とありますが、伊澄がこのような態度を取っているのは、学校生活をどのように思っていたからですか。それを表している部分を「」と書いていた。」に続く形で、本文中から二十五字程度でぬき出し、最初と最後の五字で答えなさい。

問四

——線部 a「意に染まらない」・ b「意表を突かれて」の意味としてもっともふさわしいものを次のア～エから選び、それぞれその記号で答えなさい。

a 意に染まない

ア 実力が足りない

イ 言いわけできない

ウ 気がすすまない

エ 想像もつかない

b 意表を突かれ（る）

ア 思いもよらないことに驚く

イ 行動するのがおくれ先をこされる

ウ ほかの人たちの動きにひきずられる

エ 強く注意を引きつけられる

問五

——線部④「ため息まじりの『始めている』とありますが、このときの矢地の気持ちを説明したものとして、もっともふさわしいものを次のア～エから選び、その記号で答えなさい。

ア 自分の言うことをよく聞く生徒を選びたいのに、立候補者さえ出てこないことに失望して諦め始めている。

イ 学級委員を決めることもできない生徒たちにあきれ、担任である自分が決めてしまおうと考え始めている。

ウ 積極性を感じられないクラスの様子が心配になり、集団のふんいきを前向きにしようと思えり始めている。

エ 立候補が出ず、なかなか学級委員が決まらない状況じょうきょうに困り、早くなんとかしたいと思い始めている。

問六

——線部⑤「教室が小さくざわめいた」とありますが、これは教室の生徒のどのような気持ちを表していますか。それを説明したものとしてもっともふさわしいものを次のア～エから選び、その記号で答えなさい。

ア みんながしるる学級委員に立候補した六花に対する後ろめたさ。

イ 立候補したのが足に障がいのある六花だったことに対する驚き。

ウ 六花が学級委員の仕事を軽く見ているのではないかという心配。

エ 六花のおかげで長く続いた沈黙の時間が終わったという解放感。

問七

——線部⑥「ひどく驚いた様子の『笑顔に切り替えた』とありますが、この部分から読み取れる矢地の気持ちはどのようなものですか。それを説明したものとしてもっともふさわしいものを次のア～エから選び、その記号で答えなさい。

ア 立候補者が出ないクラスの様子につらい思いをしていたが、やる気のある前向きな生徒がいるとわかり喜んでいいる。

イ 諦めていた立候補者が出たことで不意をつかれたが、担任らしさを取りもどしクラスを上げまそうとしている。

ウ 六花が立候補したことに不安を感じたが、その気持ちをかくして、六花の行為こういを評価していると装よそおおうとしている。

エ クラス中から注目されても立候補をやめない六花の思いがけない姿を目にし、よい生徒がいると期待を高めている。

問八

——線部⑦「ほかには？」と矢地が聞いたのは、矢地にどのような考えがあるからだと思われますか。それを説明した次の文の（１）・（２）に入れるのにふさわしい言葉をそれぞれ答えなさい。ただし、（１）は本文中から五字以上十字以内でぬき出して、（２）は五字程度の言葉を自分で考えて答えなさい。

* 六花は（１）なので、学級委員は（２）。

問九

——線部⑧「渡辺さんじゃ、だめなんですか」とありますが、伊澄はどのような気持ちでこう言ったのですか。その説明としてもっともふさわしいものを次のア～エから選び、その記号で答えなさい。

ア すでに六花が立候補しているのに、立候補を取り続ける矢地の行動に納得がいかなかったから。

イ 立候補者が一人出ればよいと思っていたが、まだ候補者が必要だったと知って驚いたから。

ウ どのような人に学級委員をしてほしいと思っているのか、矢地にはつきりと言ってほしいから。

エ 六花以外の生徒に学級委員をさせたいという矢地の願いを、みんなに理解してもらいたいから。

問十

——線部⑨「歯切れ悪く口ごもって」とありますが、このことから読み取れる矢地の気持ちを説明したものとしてもっともふさわしいものを次のア～エから選び、その記号で答えなさい。

ア 伊澄が自分の考えを察してくれないことにあきれている。

イ 伊澄の無愛想なふるまいの理由が分からずとまどっている。

ウ 伊澄が自分に反発してくることを不愉快に感じている。

エ 伊澄の質問に対して自分の本心を言いくいと思っている。

問十一

本文中の「Y」に入れるのにもっともふさわしいものを次のア～エから選び、その記号で答えなさい。

ア 経験のない武井と自分が委員になっても平気なのか

イ 二人が親しい様子なのは、以前から知り合いだからか

ウ なぜ自分には、「大丈夫」と言ってくれなかったんだ

エ どうして二人して、もう決定したみたいに話してるんだ

問十二

——線部⑩「やっぱりやめます」と伊澄が言いかけたのはなぜだと考えられますか。その理由を説明したものとしてもっともふさわしいものを次のア～エから選び、その記号で答えなさい。

ア 六花が勇気を出して立候補したから手を挙げられたのに、裏切られたように思ったから。

イ 武井に学級委員をゆずった六花がとても気の毒で、自分も同じ立場になろうとしたから。

ウ 最初に立候補した六花が学級委員にならないような決定に、従いたくないと思ったから。

エ 武井がどういう人物かまったく知らないで、一緒に委員をするのが不安になったから。

問十三

文中の「六花」の人物像について、生徒たちが意見を交わしています。次の生徒AからEの意見の中でふさわしくない発言をしているのはどれですか。記号で答えなさい。

生徒A

六花は、自分が求められていないことがわかったら、さっぱりと思い切りよく身を引く人なんだね。

生徒B

確かに。それに、人の目を気にかけず、どうしようと自分の考えを行動に移すことができる気持ちの強さがあると思う。

生徒C

相手に自分のことをわかってもらおうとする努力もしているね。自分の苦手なこともかくさず、すなおに助けを求めることもできるところにかえって強さを感じるよ。

生徒D

それに自分では納得していなくても、相手のことを考えて行動をかけることができる、ひかえめな子だと思うよ。

生徒E

私は、六花はがんばりやさんだと思うな。新しいクラスで学級委員になろうとする勇氣もあるし、みんなのために役立とうとする気持ちもある人だと思う。

問題五

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。(問題の都合で本文の一部を変えています。)

学校のテストには「正しい答え」があります。先生がそれを教えてくれて、○か×をくれます。学校の勉強には、「たったひとつの正解」があるのです。

学校は、「たったひとつの正解」のあることに関しては、「よく考えろ」と指導します。テストをして、成績を発表して記録します。

でも、「たったひとつの正解」がないことに関しては、「考えなくていい」と指導しているとほくは思っています。

「中学生らしいとは何か?」「高校生らしいとは何か?」「どうしてツーブロックがダメなのか?」という「たったひとつの正解」がないものに関しては、「考えるな」「ただ規則を受け入れろ」と指導していると思っているのです。

(Ⅰ)、「自分の頭で考える」必要があるのは、多くの場合、「たったひとつの正解」がない問題です。

(Ⅱ)、「君がこれから出会う人生の問題は、「たったひとつの正解」がないことの方が多いからです。

「悩むことと考えること」についてアドバイスしましたが、合理的に考えて「たったひとつの正解」にたどり着ければ、とても素敵です。

でも、そうでない場合もあります。大人になっていくということは、そうでない場合が増えていくということです。

(Ⅲ)、「進学するのになどどちらの学校がいいのかと君が考えている場合。

学校のデータを調べ、学校を訪問して、いろんな話を聞いて結論を出したとしても、それが「たったひとつの正解」かどうかは分かりません。Aという学校とBという学校、どちらを選んでも、君はある程度納得するし、ある程度後悔するだろうと、ほくは思う。

「たったひとつの正解」がない問題とは、^①そういうものなんだ。

どちらを選んでも、君は不安だ。親か先生か先輩か塾の講師に「それでいいですよ」と決めて欲しくなる。

でも、人に決めてもらえば、君は当事者ではなくなってしまう。

自分で選んだことの後悔は、受け入れることができるけれど、他人が決めたことの後悔は、^{おそ}恐ろしいことに終わりが無い。

「やったことの後悔は終わりがあがあるが、やらなかったことの後悔はずっと続く」って聞いたことあるかい? 思い切って告白してフラれたら、その時は恥^はずかしくて後悔するけれど、やがて落ち着く。でも、告白しないままずっと「どうして言わなかったんだろう」と後悔し続ける、なんてことだね。

自分で決めてやったことは、失敗して後悔しても、やがて受け入れられる。でも、人に言われて失敗したことの後悔はずっと続く。

(Ⅳ)、「君は、自分の頭で考えて、決めるしかないんだ。だって、君の人生の当事者は君なんだから。

それじゃあ、^②「たったひとつの正解」がある問題を解く意味はなんだろうか。

「たったひとつの正解」がある問題を解くことが得意になると、君の成績は上がる。偏差値も高くなって親も喜ぶ。今、「学力」というのは、「たったひとつの正解」をどれぐらい解けるかで判定することが主流だ。

テレビでもそうだよね。「頭がいい」というのは「クイズ番組でどれだけ早く、たくさんの 문제에 答えられるか」だと思われる。全部、「たったひとつの正解」がある問題だけだ。

「たったひとつの正解」がある勉強をするのは、「頭がいい」と思われたい、いい成績を取るためだけだろうか。

ある日、ぼくはX (旧 Twitter) で、次のような文章を見つけました。

勉強をなぜするのか親に訊いたときに、コップを指して「国語なら『透明なコップに入った濁ったお茶』、算数なら『200 ml のコップに半分以下残っているお茶』、社会なら『中国産のコップに入った静岡産のお茶』と色々な視点が持てる。多様な視点や価値観は心を自由にする」というようなことを返され凝り固まった考え方は悪なのではなく損だ、というふうに教えてくれたのは助かりました。

「レ点」という人のつぶやきでした。

この短いつぶやきに「たったひとつの正解」のある勉強をする理由が簡潔に説明されていると思う。

「たったひとつの正解」のある勉強は、多様な視点を身につけるためにあるんだ。

③ 多様な視点は、君を自由にする。

君が行き詰まったり、「もうダメだ!」と思ったり、「もう解決する手段がない」と絶望しそうになった時に、「いやいや、こんな見方もあるよ。こんなふうにも考えられるよ」と教えてくれるんだ。

それが、このお茶のたとえだ。

知識をたくさん身につければ身につけるほど、君はいろんな角度からものを考えられるようになる。

それは、君を間違いなく助けてくれる。

成績のためではなく、多様な視点を得るために「たったひとつの正解」のある勉強をするんだ。

それはやつぱり、やがて来る「たったひとつの正解」のない問題に取り組むためなんだ。

— 中略 —

高校や大学で「自分の頭で考える」という訓練をちゃんと経験しないまま大人になると、じつは、^④ やっかいなことになる^①とぼくは思っています。前述したように「集団我」のまま「自我」^②が育たなかった場合ですね。「ブラック企業」という言葉を聞いたことがありますか？

安い給料で長い時間働かせたり、十分な休みを与えなかったり、会社の都合で社員をひどい状態にしている企業のことです。

「自分の頭で考える」訓練ができていれば、「この状態はおかしい」と主張することができます。

でも、ずっと先生や親や先輩の言う通りに従ってきて、一度もちゃんと「自分の頭で考える」という経験がない人は、ブラック企業の上司や先輩に逆らうことが難しくなるのです。

「集団我」を求める人なら、ブラック企業と分かっていながら、集団に

(注1) 集団我：集団そのものが「自分」になるということ。

(注2) 自我：自分が自分であるという意識。

縛られることを求めて、やめないまま苦勞するでしょう。

大学に行かず、すぐに働き始めた場合は、途方に暮れている場合ではないでしょう。仕事をしながら「自分の頭で考える」ということを学ぶ必要があります。

上司や先輩の指導を受けながら、ゆつくりと「自分の頭で考える」ということを身につけていくのです。

焦ることはないです。大学に行く人より、先に大人になるのですから、しんどさも苦勞もより大きくなるかもしれません。

でも、「自我」を意識して、「集団我」に押し流されないようにすれば、ゆつくりといろんなことが見えてくると思います。

G7サミットという国際会議があります。G7は、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、英国、米国の7カ国のことです。

世界をリードすると思われる各国が集まって会議で話すことは、「たったひとつの正解」がないことばかりです。

「地球温暖化問題」「経済格差問題」「エネルギー問題」「食料不足問題」「各地の紛争問題」「核軍縮・不拡散問題」などなど。

どの問題をとっても、正解と不正解が簡単に決められる問題ではありません。

私たちが学校で「自分の頭で考える」方法を学ぶのは、やがて、こういう「たったひとつの正解」のない問題と取り組むためです。

繰り返します。

君がやがて、人生の重大な決断をしなければいけない時、どんな選択

をしても、誰かからは反対され、誰かからは賛成されるだろう。

若くして、^⑤そういう問題に直面している人もいる。

例えば、親が離婚して、「母親と暮らすのか、父親と暮らすのか」と迫られている子供。親の経済問題で、進路が自分の希望通り選べない子供。いじめ問題を大人の都合でうやむやにされてしまった子供。

「たったひとつの正解」が見つからなくても、「^③ベターな正解」「^④ワースな正解」を求めて、取っ組むしかないんだ。

だからこそ、学校では、学力テストのような「たったひとつの正解」を考える勉強ではなく、「たったひとつの正解」がない問題に取り組む勉強も同じくらい必要なんだ。

君がもし、今、「たったひとつの正解」の問題しか考えてないのなら、ゆつくりと「たったひとつの正解」がない問題も考えるようにすればいいと思う。

そういう問題を今考えることが、将来のための予行演習になるんだ。

^⑥「たったひとつの正解」のない問題を前に、ただ不安になったり、迷ったり、自分で考えないで親や先生、友人に「私の代わりに考えて！」と丸投げしたりしないで、「どの選択をしても、納得する気持ちと後悔する気持ちが出てくるだろう。だって、人生には《X》《Y》がないんだから」と思つて、前向きに決めることができたなら素敵だと、ばくは思っている。

—— 鴻上尚史『君はどう生きるか』

(注3) ベターな正解……一番ではないけれど、よりいい正解。

(注4) ワースな正解……より悪いが、最悪ではない正解。

問一

本文中の（Ⅰ）（Ⅱ）（Ⅲ）（Ⅳ）に入るもつともふさわしいものを次のア～エから選び、それぞれその記号で答えなさい。ただし、同じ記号は一度しか使えません。

ア 例えば イ だから ウ けれど エ なぜなら

問二

——線部①「そういうもの」とはどういうものを指しますか。それを表している部分を「くもの。」に続く形で本文中から三十字程度でぬき出し、最初と最後の五字で答えなさい。

問三

——線部②「たったひとつの正解」がある問題を解く意味はなんだろうか」について、

- (1) 「たったひとつの正解」がある問題」に正解するために必要なものは何ですか。11ページの本文中から二字の言葉をぬき出して答えなさい。

(2)

「たったひとつの正解」がある問題を解く意味はなんだろうか」とありますが、筆者が考える一番大切な意味はどういうことですか。それを表したものを「くこと。」に続く形で本文中から十字以内でぬき出して答えなさい。

問四

——線部③「多様な視点は、君を自由にする」とはどういうことを言っているのですか。それを説明した次の文の（1）（2）に入るもつともふさわしい言葉を本文中から五字程度でぬき出して答えなさい。

* のりこえなくてはならない問題にであつたとき、（1）からその問題について考えることで、（2）を手に入れることができ、生きやすくなるということ。

問五

——線部④「やっかいなことになる」とありますが、これはどうなるというのですか。それを説明したものとしてもつともふさわしいものを次のア～エから選び、その記号で答えなさい。

- ア 親しい人の言うことにすなおに従わないと非難される。
イ 充分に準備した上で取り組まないと大きな失敗をする。
ウ 人の助言の通りにしてばかりいると苦しい状況にはまる。
エ まわりの人々とコミュニケーションをとらないと孤立する。

問六

——線部「途方に暮れている」とありますが、「途方に暮れ」とはどのような意味ですか。それを説明したものとしてもつともふさわしいものを次のア～エから選び、その記号で答えなさい。

ア するべきことがわかりつつも行動にうつせない。

イ 手段が尽きて、どうしてよいかわからなくなる。

ウ 未来への望みがなくなつて不安を感じる。

エ 納得のいかないことをされ、いきどおる。

問七

——線部⑤「そういう問題に直面している人」とありますが、その人は何をすることが求められているのですか。「」をすること。」に続く形で本文中から十字以内でぬき出して答えなさい。

問八

——線部⑥「「たったひとつの正解」のない問題を前に丸投げしたりしないで」について、

- (1) なぜ「たったひとつの正解」のない問題を前にすると「不安になったり、迷ったり」するのでしょうか。それを説明した次の文の（ ）に入るもつともふさわしい内容を自分で考えて十字程度で答えなさい。

* 問題に対して答えを考えても、すべての人に（ ）と言ってもらえるとは限らないから。

(2)

「自分で考えない」ことをなぜ筆者はよくないことだと考えているのですか。その理由を表す部分を中略より前の本文中から「」から。」に続く形で二十字程度でぬき出し、最初と最後の五字で答えなさい。

問九

本文中の《X》に入るもつともふさわしい言葉を本文中から十字以内でぬき出して答えなさい。

問十

次の問題を、「たったひとつの正解がある問題」ならA、「たったひとつの正解がない問題」ならBの記号で答えなさい。ただし、すべて同じ記号で答えてはいけません。

ア ダムを建設することはその地域にとっていいかどうか。

イ パウンドケーキを作るにはどのようにしたらいいか。

ウ となりの家の面積と自分の家の面積は同じかどうか。

エ 英語を勉強するうえで一番効果上がる方法は何か。